

事業所における自己評価総括表

○事業所名	札幌市かわ学園		
○保護者評価実施期間	令和7年11月20日	～	令和8年1月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和7年11月20日	～	令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 18名	(回答者数)	18名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年11月27日	～	令和8年1月9日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 1施設	(回答数)	1施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月2日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに関わる様々な職場(保育所等)で経験を積んだ職員が、従事している。	関係機関(保護者、幼稚園、児童発達支援事業所、主治医)へ報告書を送付し情報の共有に努めた。 ケース会議を実施し、関係機関との情報共有や役割確認を行ったことで、今後の連携強化につながる基盤づくりができた。	関係機関との連携強化を図るため、今後も必要に応じて、訪問先施設のみならず多面的な機関連携を行い、包括的な支援を展開していく。
2	係内へ情報共有を図り、職員と共通理解の基、取り組むことができる。	子どもの困り感に応じて、様々な専門職と連携を図り、重層的な支援を展開する。	職員間での情報共有に努め、必要に応じて研修等を実施するなど職員の資質向上を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今年度は、実施件数が1件だけだった。事業評価は、限定的であり、課題改善につながり難い。	事業の周知が不足しているのではないかと。	卒退園児や関係機関に事業の周知を図る。
2	家族等も参加できる研修会や情報提供等の実施について保護者からは、評価されていたが、事業所としては、やや不足していたと思われる。	利用者への直接的な支援に注力した一方、保護者への情報提供や研修機会の創出については、検討の余地を残す結果となった。	事業への理解を深めるとともに、家族支援の重要性を係全体で共有する。また直接的な支援に留まらず、ご家族の対応力向上に資する研修の案内や有益な情報提供にも努める。